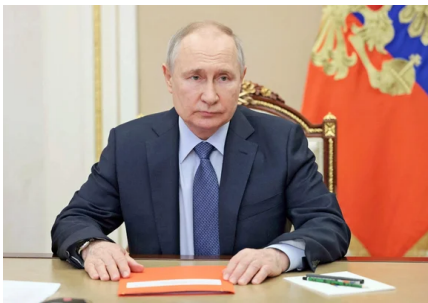


プーチン露大統領に逮捕状、ゼレンスキー氏「歴史的決定だ」...日本含む I C C加盟国に拘束義務

2023/03/18 10:54 ウクライナ情勢

この記事をストックする

【ブリュッセル=酒井圭吾】ロシアのウクライナ侵略に関し、国際刑事裁判所（I C C、オランダ・ハーグ）は17日、ウクライナの子供をロシアに強制移送した行為が戦争犯罪にあたるとして、プーチン露大統領ら2人に逮捕状を出した。I C Cがプーチン氏に逮捕状を出すのは初めて。



ロシアのプーチン大統領=ロイター

I C Cの発表によると、プーチン氏とロシアの大統領全権代表（子供の権利担当）のマリヤ・リボワペロワ氏は侵略を開始した昨年2月24日以降、ウクライナの占領地から子供を強制的にロシアに移送した行為に関与した疑いがある。市民の不法移送はI C Cの設立を定めたローマ規程に抵触し、プーチン氏は「上位責任者」とであると指摘した。

I C Cの検察が今年2月22日、逮捕状を申請していた。声明は「両容疑者が戦争犯罪の責任を負う合理的理由がある」としている。逮捕状発行は秘密裏に行われることが多いが、I C Cは、ロシアのさらなる戦争犯罪を抑止するために公表したと説明した。

I C C関係者によると、日本を含むI C C加盟国は今後、プーチン氏の身柄を拘束する義務がある。実際には、I C Cが逮捕状を強制的に執行することはできず、プーチン氏が身柄を拘束される可能性は低い。



プーチン露大統領に逮捕状、ゼレンスキー氏「歴史的決定だ」...日本含むI C C加盟国に拘束義務

2023/03/18 10:54 ウクライナ情勢

この記事をストックする

一方、ロシアのウクライナ侵略に反対するI C C加盟国をプーチン氏が訪れるのは難しくなり、プーチン氏の外遊先は制限されることになる。

I C Cは侵略開始直後からロシアの戦争犯罪を捜査しており、今後も他の戦争犯罪でプーチン氏の責任を問う見通しだ。

プーチン氏への逮捕状について、ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は17日夜のビデオ演説で、「歴史的な決定だ。テロ国家の指導者らが公式に戦争犯罪の容疑者となった」と述べた。

ウクライナ政府の集計によると、ロシアによる1万6226人の子供の強制移送が確認され、このうちウクライナに戻ったのは308人だけとなっている。ゼレンスキー氏は「最高指導者の指示なしに、このような犯罪行為は不可能だ」と指摘した。

米国のバイデン大統領は17日、記者団に対し「妥当だ。とても力強い指摘だと思う」と述べた。

一方、タス通信は、ロシアの大統領報道官が「言語道断で容認できない」と激しく反発したと伝えた。

